

# 環境活動レポート



## 株式会社 ダイシン

対象期間 平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日

発行日 平成30年 2月 1日

修正 平成30年 5月22日

# 1. 組織の概要

## (1) 事業所名

社 名 株式会社ダイシン  
 代 表 者 名 代表取締役 藪野 昌彦

## (2) 所在地

本 社 兵庫県川西市久代1丁目10番55号

## (3) 環境保全関係の担当者連絡先

環境管理責任者 土肥 寛 (資源循環推進部 部長)  
 担 当 者 同上  
 連 絡 先 電話：072-758-3378  
 FAX：072-755-5228

## (4) 事業内容

一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業、リサイクル処理業

認 可 事 業 名： 一般廃棄物中間処理・産業廃棄物中間処理、収集運搬

許可区域	許可番号	許可年月日	許可の有効期限	① 汚泥	② 廃油	③ 廃プラスチック類	④ 紙くず	⑤ 木くず	⑥ 繊維くず	⑦ ゴムくず	⑧ 金属くず	⑨ ガラスくず等	⑩ がれき類
一般廃棄物処理施設設置許可証 (処理能力 圧縮梱包施設 22トン/日 11時間)													
兵庫県	156700001	H21.12.25	—	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
産業廃棄物再生事業者登録証明書													
兵庫県	28H19002	H20.01.29	—	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-
産業廃棄物処分業許可証 (処理能力 破碎施設 1.6t/日(8時間稼働)、圧縮施設 16t/日)													
兵庫県	02823017777	H22.12.08	H32.12.07	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
産業廃棄物収集運搬業許可証													
兵庫県	02803017777	H22.07.01	H32.06.30	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阪府	02700017777	H27.07.01	H32.06.30	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
京都府	02600017777	H24.03.27	H34.03.26	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○
滋賀県	02501017777	H24.03.30	H34.03.29	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○

## (5) 事業規模

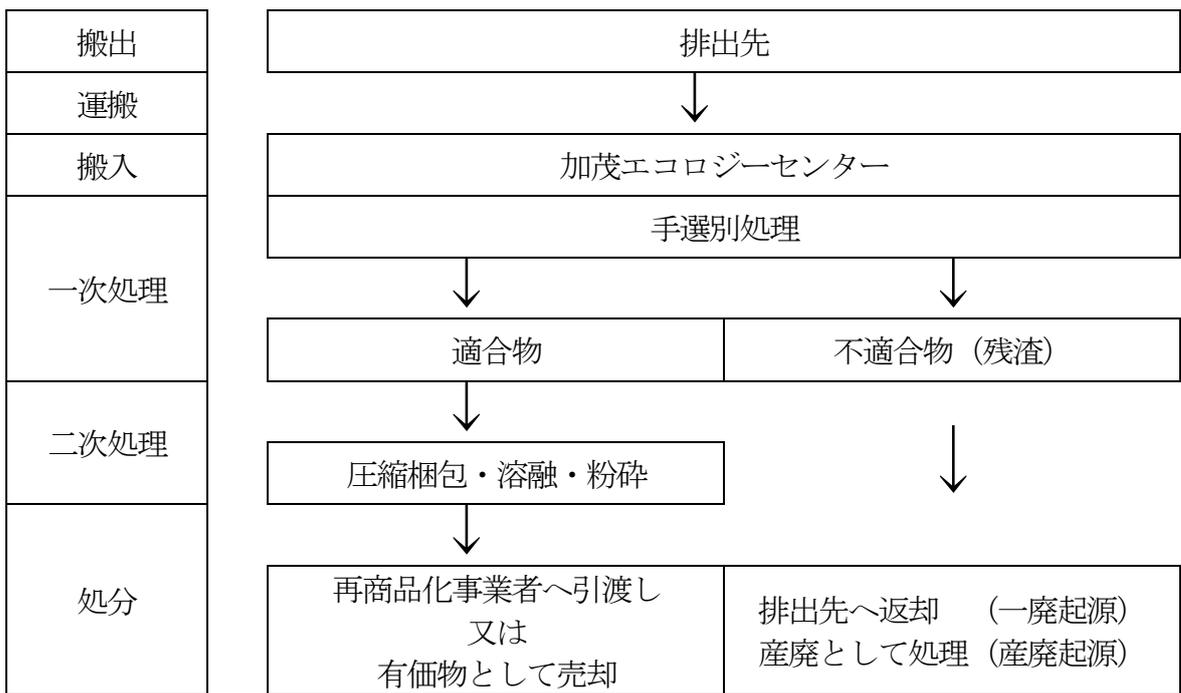
2億1,169万円 (平成28年度)

	本社	支店	加茂エコロジーセンター	車庫	合計
従業員 (人)	3名	2名	18名	0名	23名
延べ床面積 (㎡)	48㎡	68㎡	640㎡	—	756㎡

(6) 保有車両

3t パッカー車	3 台	バッテリーフォークリフト	1 台
4t パッカー車	3 台	ショベルローダー	2 台
22t パッカー車	1 台	ホイールローダー	2 台
25t パッカー車	1 台		
4 t コンテナ	1 台		
軽バン	1 台		

(7) 中間処理方式と工程図



(7) 事業年度： 4 月 ～翌年 3 月

2. 認証登録の対象範囲・活動

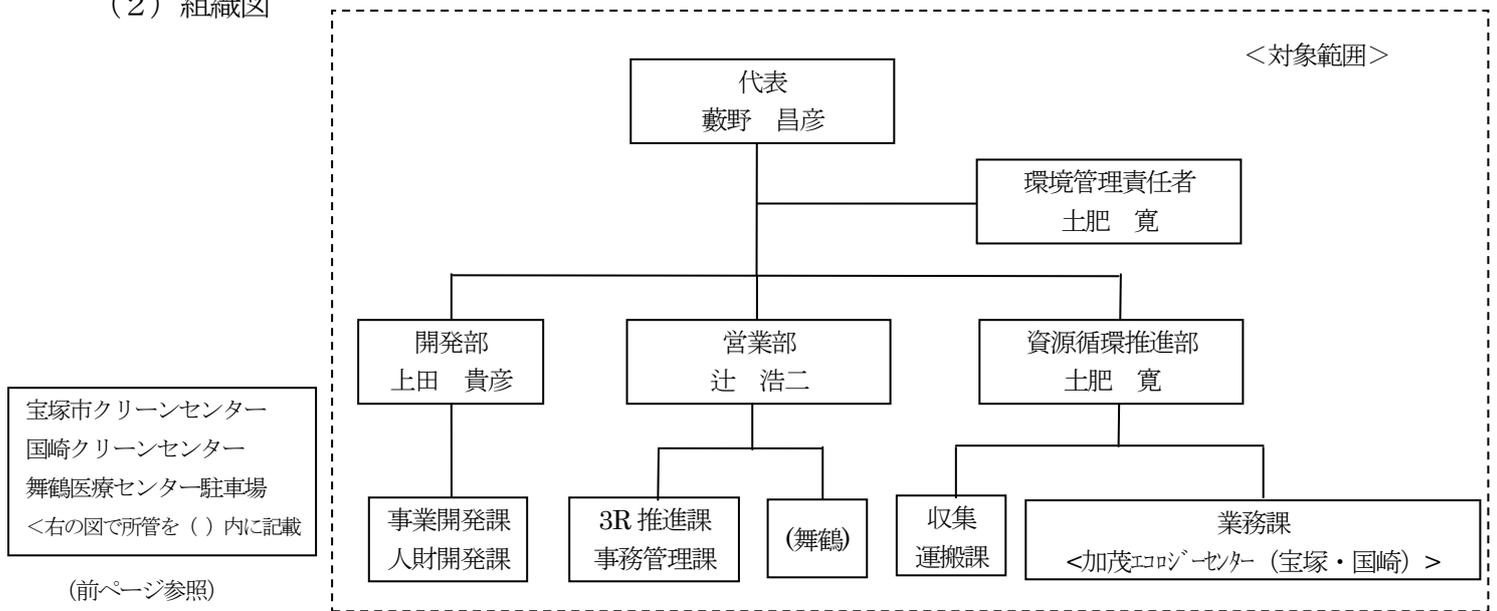
(1) 認証登録範囲

登録組織名：株式会社 ダイシン

関連事業所： 本社 兵庫県川西市久代 1 丁目 10 番 55 号  
 支店 兵庫県宝塚市山本丸橋 4 丁目 65 番 11 号  
 加茂エコロジーセンター 兵庫県川西市加茂 6 丁目 126 番 1 号  
 車庫 兵庫県川西市久代 1 丁目 67 番、68 番

対象外事業所： 宝塚市クリーンセンター、国崎クリーンセンター  
 (自治体処理場内での請負業務のため対象外とします)  
 舞鶴医療センター駐車場  
 (病院付属の駐車場での請負業務のため対象外とします)

(2) 組織図



(3) 役割・権限

	役割・責任・権限
代表 (社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境営業に関する統括責任者</li> <li>環境システムの実装に必要な人、設備・費用・時間・技能・技術者を準備</li> <li>監査及び環境管理責任者の任命</li> <li>環境方針の策定・見直し及び従業員への周知</li> <li>環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施と管理</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>環境目標、環境活動計画書原案の作成</li> <li>環境関連法規の取りまとめ表の作成</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境活動レポートの作成、公開 (事務所に備え付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営システムの実施</li> <li>自部門における環境方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>自部門の特定された緊急事態への対処の為の手順書作成、テスト・訓練記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

### 3. 環境方針

# 環境方針

当社は、自主的・積極的に環境改善に取り組み、環境負荷の継続的な削減に取り組んでいきます。

1. 当社は次の環境課題に取り組みます。

- ① 中間処理において、より多くの再資源化
- ② 車両運行に伴う燃料消費による二酸化炭素排出量の削減
- ③ 廃棄物の減量、再使用、再生利用の推進
- ④ 水資源の節減
- ⑤ 業務上必要な調達品のグリーン購入
- ⑥ 環境に配慮した事業活動の推進
- ⑦ 電力消費による二酸化炭素排出量の削減

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や、環境への取り決め事項を遵守します。

3. 本方針を全従業員に周知徹底します。

平成25年10月 1日制定  
平成27年12月17日改訂

株式会社ダイシン

代表取締役 藪野 昌彦

#### 4. 中期環境目標の設定

項目		平成26年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		基準年度	目標	目標	目標	
トータルCO <sub>2</sub> 排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	184,582	177,199	175,353	173,507	
	比率 (%)	100%	96	95	94	
電力使用量削減 (注1)	kwh	83,316	79,983	79,150	78,317	
	比率 (%)	100%	96	95	94	
ガソリン使用量削減	L	3,112	2,988	2,956	2,925	
	比率 (%)	100%	96	95	94	
軽油使用量削減	L	54,318	52,145	51,602	51,059	
	比率 (%)	100%	96	95	94	
ガソリン燃費の向上	Km/L	8.99	9.17	9.26	9.35	
	比率 (%)	100	102	103	104	
軽油燃費の向上	Km/L	4.3	4.39	4.43	4.47	
	比率 (%)	100	102	103	104	
受託廃棄物 (注6)	収集運搬量	t	5,858.2	-	-	-
	処理量 (廃プラ)	t	3,882.6	-	-	-
	再生量 (廃プラ)	t	3,840.3	-	-	-
	付帯有価物(注2)	t	533.3	-	-	-
	発生廃棄物(注3)	t	115.9	-	-	-
	再生率(注4,5)	%	98	95	95	95
一般廃棄物 排出量削減	自社起源	t	0.46	0.442	0.437	0.432
		比率 (%)	100%	96	95	94
産業廃棄物 排出量削減	実績の出た時点で計画	t	0	0	0	0
総排水量削減	m <sup>3</sup>	354	340	336	333	
	比率 (%)	100%	96	95	94	
グリーン購入比率向上	10 (%) 文具ベース	39	35	40	45	
社会貢献活動		-	-	-	-	

(注1) 電力のCO<sub>2</sub>排出係数; 0.414 (平成23年度 関電)

(注2) 分別した有価物

(注3) 分別後の残渣 (受託元の自治体に返却、または受入産廃起源の場合は産廃処理)

(注4) 再生率 = (再生量 (廃プラ)) / (処理量 (廃プラ))

(注5) 容器リサイクル法の基準90%以上を満たすように目標設定する

(注6) 受託品起源の収集運搬量、再生対象量、排出量などは営業活動によって変動するので、再生率のみを目標とする

## 5. 最近3年間の実績と評価

項目		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
		実績	実績	目標	実績	達成度 実績/目標 %	評価	
トータルCO <sub>2</sub> 排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	184,582	152,262	177,199	132,314	75	○	
電力使用量削減(注1)	kwh	83,316	73,845	79,983	87,202	109	×	
ガソリン使用量削減	L	3,112	2,989	2,988	2,998	100	△	
軽油使用量削減	L	54,318	43,695	52,145	33,836	65	○	
ガソリン燃費向上	km/L	8.99	9.5	9.17	9.7	106	○	
軽油燃費向上	km/L	4.3	3.73	4.39	4.66	106	○	
受託廃棄物 (注5)	収集運搬量	t	5,858.2	4,576.2	—	5,023.0	—	—
	一廃処理量(廃プラ)	t	3,882.6	3,511.8	—	3,015.5	—	—
	一廃再生量(廃プラ)	t	3,840.3	3,415.7	—	2,896.8	—	—
	一廃処理量(PET)	t	—	—	—	1,824.1	—	—
	一廃再生量(PET)	t	—	—	—	1,458.2	—	—
	産廃処理量	t	—	893.2	—	29.5	—	—
	付帯有価物(注2)	t	533.3	864.9	—	24.5	—	—
	発生廃棄物(注3)	t	115.9	124.4	—	489.5	—	—
	再生率(注4,5,6)	%	98	97	95	96	100	○
購入PET (注7)	購入量	t	—	—	—	153.9	—	—
	再生量	t	—	—	—	146.0	—	—
廃棄物 排出量削減	自社起源(一廃)	t	0.460	0.432	0.442	0.41	93	○
	自社起源(産廃)	t	0	0	0	0	0	—
植物活力液(注8)	t	11	14	—	16.8	—	—	
総排水量削減	m <sup>3</sup>	354	296	340	432	127	×	
グリーン購入	%	39	21	35	31	89	×	
社会貢献活動	—	—	—	—	—	—	—	

(注1) 電力のCO<sub>2</sub>排出係数; 0.414 (平成23年度 関電)

(注2) 産廃処理後に発生した有価物

(注3) 分別後の残渣(受託元の自治体に返却、または受入産廃起源の場合は産廃処理)

(注4) 再生率 = (再生量(廃プラ)) / (処理量(廃プラ))

(注5) 容器リサイクル法の基準90%以上を満たすように目標設定する

(注6) 受託品起源の収集運搬量、再生対象量、排出量などは営業活動によって変動するので、再生率のみを目標とする

(注7) 有価購入PET

(注8) 原液を購入し、加水希釈・小分けして販売している

## 実績に対する評価

### (1) 電力

使用量が目標を9%超える結果となりました。業務量の増加による、設備機器の稼働時間や事務所滞在時間の増加が影響していると考えます。電気の消し忘れや不要電灯の消灯等の無駄な電力を徹底的に省いていくように全員で取り組んでいきます。

### (2) ガソリン

使用量は目標と比べて微増となりましたが、燃費は年間通して6%向上しました。これは、アイドリングストップやエコドライブの取り組み成果が表れた結果だと考えています。

### (3) 軽油

使用量・燃費ともに目標を達成することができました。新たに購入した大型車を効率的に使用する工夫や1人1人の取り組みにより目標達成に繋がったと考えます。

### (4) 受託した廃棄物

収集運搬量・再生対象量ともに昨年度より増えましたが、再資源化率は昨年度とほぼ同程度の96%となりました。今後は従業員への指導にこれまで以上に力を入れ、再資源化率向上に繋がるように努めていきます。

受託した廃棄物を分別した結果として発生する再生不可物(残渣)を、一般廃棄物として受託元の自治体に返却しています。今年度は残渣が昨年度よりも約370t増加しました。原因は新たに受入を始めたPETの分別状態が悪いくことと、業務量が増えたため効率を重視しすぎたことと考えます。発生元との折衝を続けるとともに、丁寧かつ効率的な処理に努めていきます。

### (5) 一般廃棄物

自社で発生する可燃ゴミにつきましては、目標値より7%抑えることができました。これは印刷時の裏紙使用を徹底した成果であると考えています。ただ、PDF等を活用した書類のデータ管理は、徹底できておらず、まだまだ削減の余地はあると考えています。

### (6) 総排水量

植物活性液を製造していますので、受水量から原料水量を引いた値を排水量としています。

今年度は、植物活性液の受注量の増加や加茂エコロジーセンター内の業務量の増加により、目標値を27%超える結果となりました。今後は洗車時や手洗い時の出しっ放しの防止等、細かな無駄を省き、排水量を削減していけるように努めていきます。

## 6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

目標項目	取組計画	達成状況	目標達成状況を含む「活動計画取組結果」の評価・今後の取組内容
電力削減	空調機器の設定温度遵守	△	1人1人の節電に対する意識向上が必要不可欠である。不要電灯の消灯や消し忘れ防止の徹底に努める。
	照明の消灯	△	
	PC使用时以外の電源オフ	○	
	機械使用時の作業迅速化	○	
自動車燃料削減	アイドリングストップ	△	新規大型車の導入やルートの見直し等の1人1人の日々の取り組みにより、軽油については使用量も燃費も目標達成となった。この調子で継続していく。
	エコドライブの徹底	○	
	配送ルートの見直し	○	
	車両等の定期メンテナンス	○	
廃棄物削減	一般廃棄物の削減	△	ゴミの分別や、裏紙の再利用など資源のリサイクルを継続する。
	産業廃棄物の削減	—	
受入産業廃棄物の処理	手選別による資源物選定	○	リサイクル率の向上
排水量削減	洗車時の節水	△	業務に伴う作業での節水活動や漏水管理について活動を継続する。
	放水のままの手洗い厳禁	△	
化学物質削減	取り扱いが無く対象外		
グリーン購入	事務用品のエコ商品購入	×	グリーンマークの商品購入に努める。
社会貢献活動	地域の清掃活動	×	次年度は事務所周りの道路等、身近な所の清掃から積極的に取り組むようにする。
	障害者就労支援	○	

## 7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### (1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

主な適用法規等	該当する活動	遵守状況評価
容器包装リサイクル法	適正処理	遵守
廃棄物処理法	法に基づく収集・運搬、中間処理の実施 マニフェスト交付・報告	遵守
騒音規制法	特定施設の届出	遵守
道路運送車両法	点検・整備	遵守
道路交通法	過積載・駐車・停車	遵守
フロン排出抑制法	定期点検	遵守

### (2) 違反、訴訟等

環境関連法規への違反や訴訟はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間以上ありません。法規の遵守状況をチェックし、問題がありません。

## 8. 代表者による全体の評価と見直しの結果

### 【 環境目標及び環境活動計画の達成状況 】

#### ・達成した項目と達成できた理由

軽油使用量、ガス使用量及び産業廃棄物・一般廃棄物排出量は概ね達成できました。

業務量が増加しているにもかかわらず目標を達成できたのは、1人1人の環境に配慮した取り組みの成果だと考えます。

#### ・未達成項目とその理由

電力使用量、ガソリン使用量、水排出量及びグリーン購入に関しては未達成となりました。

業務量の増加が大きな要因となったと考えます。今後は、日々の細かな努力を積み重ね、全社員一丸となって二酸化炭素削減に貢献できるように取り組んでいきます。

### 【 今後の取り組みにおける改善、変更等 】

#### ・環境方針、環境目標、環境活動計画などを変更する必要はありません。

#### ・廃棄物の減量、再利用・再使用・再資源化に務めるなど、以下の項目に留意して活動していきます。

教育訓練による意識の徹底を図り、環境負荷の継続的な削減に取り組む

日常における意識の低下を防ぎ、意識の向上、常態化に務める

目標・計画の必達に向け、全社員の意識の改革に務める

事業規模の拡大に伴う電力・燃料等の増加に繋がらないように、迅速な作業・改善・効率化を図る

一般教育の教育機会の回数を増やし、管理職以外での環境経営教育の機会を図る

環境資格・法規制においては、資料の設置・公開をする

緊急事態に対応すべく各部署で訓練を行い、全従業員での連携も図る

環境経営システムは、定期的に見直し改定を行う

改定を行う際に、環境経営システムの見える化を進める、資料の設置・公開する

全従業員での取り組み・周知徹底を図る

以上